

会議名称：平成28年度10月期古賀市社会教育委員の会議

日時：平成28年10月27日（木） 19時～21時

場所：古賀市役所 第2委員会室

主な議題：①「第4回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

②『家庭の教育力』と『地域の教育力』について（グループ討議）

傍聴者数：なし

出席者：松本議長、加藤副議長、平島委員、船越委員、角森委員

國友委員、佐々木委員、松末委員、安武委員、横大路委員

（以上委員10名）

力丸生涯学習推進課長、柴田参事補佐、野田

欠席者：なし

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：①レジュメ

②「生涯学習笑顔のつどい」出演者一覧

会議内容：以下のとおり

委員：

ただいまから10月期の社会教育委員の会議を始めます。

協議事項(1)「『第4回古賀市生涯学習笑顔のつどい』について」、事務局からお願いします。

事務局：

「第4回生涯学習笑顔のつどい」について、まず日程の変更についてですが、先月の会議で7月2日を候補日としていましたが、粕屋地区PTA研修会が入るということで、議長に相談し、7月17日、3連休の最終日ですが、この日を候補日とし、15、16日をリハーサル日として、3日間仮押さえをしています。

日程変更については、みなさんに事前にご報告していましたが、地域等で大きな行事があるなどのご予定はいかがでしたでしょうか。ちなみに平成28年度は行事が入っておらず、3連休の最終日は行事が入りにくいようです。

委員：

市の行事や地域の行事が入っていなければいいと思います。他に何かご意見はありますか。

特にないようでしたら、次に移ります。

事務局：

資料を配布していますが、黒田館長のつどいの講評をまとめています。次回のつどいや、これからの活

動に役立てていただければと思いますので、ぜひ御一読ください。

最後になりますが、先月の会議で各校区で出演者を考えてはどうか、ということでしたので、今までの団体の一覧と校区を記載しています。来月以降、提言と同時並行ではありますが、来年度のつどいについて、出場団体の検討もしていきたいと考えていますので、今まで発表のない校区ですとか、ぜひ紹介したいという団体がありましたら、提案していただきたいと思います。

委員：

黒田館長の講評についてですが、これからの地域づくりや社会教育団体の活動の基本になるような話でしたので、ぜひ一読していただいて、これから、社会教育委員として、各地域や団体のアドバイスする時や今日のような会議で先生の話を活かしてもらいたいと思います。

また、出演者の一覧ということで、アトラクションと実践報告の団体、今日決める必要はないんですが、各校区にまんべんなく発表していただいたほうが、古賀市全体の社会教育団体の交流という目的が達成できるのではないか、ということです。出ていないのはどの校区になりますか。

委員：

花見と千鳥ですね。

委員：

実践報告は各校区にまたがっていった方がいいと思うので、これを参考にさせていただいて、笑顔のつどいではまだ報告はないようですので、できれば千鳥校区、花見校区から実施報告ができればいい、と思います。この前の「地域の教育力班」の報告では『たけのこ文庫』や『アンビシャス広場』がかなり豊かな活動をされていましたね。

委員：

花見の福祉会も何か始められたようですね。

委員

この前も話になりましたが、出してもらうことによって今後のきっかけづくりになるのではないかと思います。

委員：

検討してみたらいいですね。

委員：

花見校区がコミュニティの活動となるのなら、千鳥は文庫の活動だとか、アンビシャスの活動をあたればいいので、絞り込みやすくなります。

委員：

では、以上のことも踏まえて検討していきましょう。課題のある団体も実践報告を通して克服していく、そういった視点からご意見を伺います。アトラクションも、また、違った観点から、違った活動も含めて推薦していただきたいと思います。

ご意見がないようでしたら、(2)「家庭の教育力」と「地域の教育力」についてのグループ討議に進みます。

各グループで協議を進めていただけていますが、今日は前段として、各グループから進捗状況を報告して、それからグループ討議に入っていきたいと思います。「家庭教育力」もアンケートもできまして、校長会に配付したということで、新しい段階に進んでおります。

では、「家庭の教育力」班から、よろしくお願いします。

委員：

「家庭の教育力」ですが、配布資料に『おうちコミュニケーションアンケート』があると思いますので、そちらをご覧ください。『1年生親子用』、黄色い用紙が『6年生児童用』、そして『6年生保護者用』となっています。

「家庭の教育力班」では、何をテーマにするかということで、メディアや食、勉強のことなど、いろいろ出しましたが、基本になるのは家の人とのかわり合い、コミュニケーションだろうということで、これをテーマに絞りました。対象は1年生親子と6年生親子なのですが、1年生に関しては家に持って帰ってもらって、親子で話しながら答えてもらう、という形になっています。6年生に関しては、児童は学校で回答、保護者に関しては家に児童が持って帰って保護者が単独で答える、となっています。6年生に関しては、児童用と保護者用でそれぞれナンバリングをして、回収したときにその回答が親子であることがわかるようにしています。また、1番最後の設問は、自尊感情、自己肯定感の項目になっています。家でのコミュニケーションのとれ具合とその子自身の自己肯定感、自尊感情との関連を分析できたらいいな、ということで6年生の児童に関しては、14番目の項目で聞いています。

このアンケートは本日仕分けをして、11月1日までに学校に配布して11日に回収、その後回収した後に集計をしていきます。年内に集計を終わらせて、そのあと分析をし、その結果をもとにしてリーフレットを作っていきますが、分析とは別にそれぞれのアンケートの1番最後で、家での工夫やルールを聞いて、役に立つようなものがあれば、お互いに共有していたいという思いで、自由記述回答を作っています。その内容も含めて、フィードバックするという形で、来年度になります。リーフレットを作成していきたいと思っています。

何かご質問があればお願いします。

委員：

リーフレットは提言書を作った後になりますか。

委員：

今年度はリーフレットまでは行き着かないと思います。

委員：

教育委員会に提言書を上げて、リーフレット作成は来年度、ということですね。

委員：

今年度は分析までできるといいかな、と思っています。

委員：

素晴らしいアンケートができあがっていますね。

委員：

他に、質問がありますか。

委員：

ナンバリングで親子の照合ということですが、基本的に無記名ですか。

委員：

はい。

委員：

先日、古賀中学校でSNSの関係で携帯電話に関するアンケートを行ったんですが、特定できないほうがいいかと思って無記名にしたんですが、教頭が危惧していたのが無記名にすると出さなくてもわからないので、回収率が下がるんじゃないかということだったんですが。

委員：

委員とも話していて、回収率に関しては、私たちは8割ぐらいを考えていたんですけど、他の学校の校長先生の中から6割くらいじゃないかと言われて、特に家に持ち帰った場合ですね、6年生児童に関しては教室で担任の指導のもとに実施し、回答して回収してもらうので、おおよそ100%に近い回答が出ていると思います。家に持ち帰る分は回収率が減ると思いますが、そこは仕方がないと思っています。記名にしてしまうと本当のことを書かない、と思っているので。

委員：

SNSのアンケートもそれを考えて無記名にしたんですが、結果としては正に61%くらいでした。

委員：

北中学校が生徒会でアンケートをとった時は、学校で答えさせたかと思います。保護者が答えた分は家に持って帰った分もあったと思いますが、やはり回収率はそのくらいかな、という気がします。

回収率を少しよくするために、アンケートを封筒に入れるんですけども、封筒に大きく印刷して、何月何日までに担任の先生に出して下さい、と載せています。あとは学校がどれだけ担任から声をかけて回収して下さるか、ということにかかっていると思います。

委員：

多分1年は、保護者も新鮮で新しい気分だから大丈夫かと思います。大体1年生、低学年は何でも回収率がいいですね。6年生はわかりませんが、あとは担任からなるべくプッシュしてもらったらいいな、と思います。その辺は委員と連絡をとって回収率を上げる方向でいったらいいかと思います。

委員：

先ほどのアンケートのときは、学校からキッズメールで3回ぐらい連絡してもらいました。そういったものが各学校あると思うので、お願いしたらいいかと思います。確かに、1年生は70%くらい回答があって、2、3年と回答率は下がっていったようです。

委員：

どれくらいの分量でしたか。

委員：

A4の用紙1枚くらいです。

委員：

自尊感情とか楽しみですね。全国の学習状況調査の中にも、自尊感情の質問がありまして、その中で、小学校6年生と中3のデータが出ていますし、外国に比べて日本の子どもが自尊感情が低いと都道府県の調査でも出ていますから、そういった自尊感情と家庭の教育力が明らかになってくれば、特に古賀市の子どもたちの様子がわかりやすいんじゃないかと思います。

他の委員の方はよろしいですか。

では、『地域の教育力』に移ります。

『地域の教育力』は5月くらいまで、皆さんで課題と成果を出し合い、それから以前、古賀市の教育力のプラス面・マイナス面を事務局にまとめてもらってましたので、それを基にして委員で手分けして、夏休みをはさんで分担して、調査・取材活動を行っています。東小校区は委員と委員、西小校区は私、千鳥校区は委員、花見校区は委員、ということで行っています。それを集めて8、9、10月3ヶ月で報告しあっています。今日が報告の最終日になるかと思っていますが、花鶴校区とアンビシャス広場の現場の状況について話しをします。

大きく3つに分けて、1つは子どもたちの様子、2つは子育ての教育力の現状、指導者の年齢層とか豊かな指導分野とかそういったことはどうか、そして課題、行政への要請、そういったところを出しあっています。

来月から各校区コミュニティごとに出していただいたことを基にして、提言の方向でまとめていきたいと思っています。11月、12月、1月くらいに、提言の原案をつくって、2月くらいに皆さんに見ていただいて、委員とスケジュールを調整して、今年度中には、1つの提言書にまとめて、教育委員会に提出したいと思います。

1つ付け加えですが、花鶴校区のコミュニティの資料を見ていただきたいんですが、質問用紙の⑮番に放課後子ども広場を10月から月1回試行して、来年の4月は週1回実施する予定だということで、きっかけになったのは『笑顔のつどい』であったり新聞に載ったりといったことかなと思うんですが、東小学校の取り組みが広がっていている、というのを聞いて非常にうれしくなりました。放課後子ども広場も広がっていくということは、素晴らしいなと思いますし、『笑顔のつどい』や情報交換をやっていってよかったなと思っています。

何かご質問がありましたらお願いします。

ないようでしたら、それぞれのグループに分かれて、討議をお願いします。

(グループ討議)

委員：

それでは、「3. 報告事項」に移ります。事務局お願いします。

(事務局より、「3. 報告事項(1)平成28年度第46回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会」について報告。)

委員：

それでは、「4. その他(1)委員から」。委員から何かありますか。

(委員から「平成28年度糟屋地区スポーツ推進委員研修会」の案内。)

委員：

「その他(2)について」、事務局よりお願いします。

(「(2)第16回市民ウォーキング 古賀を歩こう!秋の道」について、事務局より説明。)

委員：

その他にかありますか。

事務局：

先月、お尋ねいただいていたのですが、減額団体で、団体の代表者が市長であるとか議員である場合、ということだったんですけども、今回の場合は、法的に問題はないということを確認をしていますが、無用な憶測を生むことがありますので、こちらから団体に会長の変更などについてお願いをしようかと思っていますので、そういったことで御理解いただければと思います。

委員：

委員から他にありませんか。

ないようでしたら、おわりの言葉を委員、お願いします。

委員：

皆さん、お疲れ様でした。